

磐城春秋

第七號

發行所 磐城平田市
電話 五三六八
編輯所 高木印刷所
印刷所 高木印刷所
【錢十四部一價定】

天皇制存廢私見 (上)

石 黒 武 雄

論理か情感か — 歴史の再検討

「日出アテ作シ日入リテ息フ、井テ繁チテ依ミ田ヲ耕シテ食フ帝力我ニ於テ何カ有ラン」(逸士傳)は天下泰平無事にして爲政者の徳を痛感せざる意味であるが、今日の日本國民に於ては生活の問題は大問題なるが故に爲政者云々の聲が僻地に迄聞くを得るは宜なる哉である。ドイツ社會經濟學者マックス・ウェーバー教授が嘗て「一敗戦は帝政を危くす」と断じ、林語堂氏が「日本は敗けたのだ、當然の歸結として又日本民主化の爲に、今上陛下は廢位されねばならぬ」と語つて居る時に、日本國體の決定を國民の意志に任されて居る我々は、眞剣であると共に此の種論議の健全なる發展を望まないのである。以下は私の一私見に過ぎないが大方の叱正啓蒙を受ければ幸甚と思ひます。

近時日本歴史の再検討が呼ばれて、上代に於ける社



追放
△日本の女性には家族制度下の維の道徳に就いては不十分な横の道徳に就いては、不十分なを免れ得ない

併し二千年の歴史と日本人の性格の現状への進展とより、日本人の持つ國家としての形態は、現在米國及び英國の識者間に於て論じられて居るが如く、日本に如何にして民主主義を確立すべきやの立場に於て天皇制の可否を論ずべきで所謂日本の民主主義でなければならぬ。

第一、人權の確立
第二、議會政治の確立
第三、言論結社の自由
の三つが其の大綱として擧げられるのであるが、又一

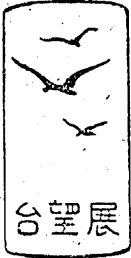
此の範圍内に於て國民の中心点として天皇の存在を肯定しようとし即ち便宜論的に單に天皇があつた方が便利であるとか、又は日本人は氣候風土上急激なる變化を概して愛好しない國民であり、然も國家社會全般に一大變革を必要とする現實面に處するに國民の心を天皇といふ中心に集中して此の要を行ふに非ずしては拾收もつかぬ状態に陥るとの見解に於てのみ主張せんとする者も亦相當に多い

△自分の夫や子供の幸福のために一身を犠牲にしても悔いる所がないといふ美徳を發揮するがそのために周囲の人達にどんな迷惑もな苦痛を與へるかといふ点に就いてはほとんども願感しない

△將來の日本女性は自分の一家の幸福を自分達の住んで居る社會の幸福と切つても切れぬ深いつながりがあるといふ事を認識しなければならぬ。自分の周囲の者が不幸であつて自分の一家だけが幸福であるといふ事は一時的であつて永

△日本女性は家族制度下に於ける良妻賢母としての道徳を揚棄して社會人として人類の一員として隣人愛人類愛にめざめ公民としての道徳を高めてゆかなければならぬ

△日本の女性はその視野が廣くならず其道徳が高まつてくれば日本の道徳國家としての發展は期して待つべきものがある。何故ならば母親としての感化は彼女達の愛兒に深い影響を與へて行くからである



(投稿 歡迎)

◇學徒に希望を與へよ
世を擧げてインフレの旋風
吹き荒ぶ時、學徒のみが例
外であることは許されぬ

◇摘發物資の行方

(白銀町 増野隆)

警察署では米、スルメ等の
統制物品を摘發強制引上を
してゐるがその處分が一体
どうなつてゐるのだらうか

◇隣人愛を

(餘本浩)

戦災者への特配品が少量乍
ら行はれてゐることは喜ば
しいが受配者中には學徒動
員、徴用者、挺身隊として

◇街の聲

(仲町 隣組員)

あの家では一俵二千圓で米
五俵買った、この家では麥
三俵買ったと井戸端會議の
話題であるがこんなことを

◇大衆用語の一考察

最近殊に目立つものは勞働
者對資本家の諸問題である
之が解決こそ明朗社會實現
の爲是非協調を期し度いも

渡邊醫院

内科小兒科
平市八幡小路
電話八一四

産科婦人科

五十嵐醫院
平市新川町
電話三六九番

産科婦人科

井坂醫院
平市田町
電話五五九

産科婦人科

實川醫院
平市田町
電話二七〇

耳鼻科咽喉科

鈴木醫院
平市田町
電話六一五

眼科

明雲堂醫院
平市仲田町

耳鼻科喉科

高柳醫院
平市城山女學校通左側
電話三三六

内科小兒科

鈴木醫院
平市銀治町
電話四五二番

耳鼻咽喉科

大和田醫院
平市南町
電話八七四番

旬間録音

二月 14 - 28

總選舉期の延期と新圓生活の旋風が喜悲交々春風に乘つて色々な話題を提供してゐる、平市日本産業社の隠匿物資摘發隊結成と並んで農村の活潑なる動きが關心を集めてゐる

◆勞組結成

十四日 上山田炭礦では勞働組合及び職員組合を結成、賃金の大幅値上げ、配給所の勞組管理其他を要求した

◆平驛女子職員辭表提出

十四日 平驛の女子職員はさきに六十名が自發的に辭職したが更に復員者に職場所を譲るべきだと行政整理に先立つて卅一名が自發的に驛長へ辭表を出した

◆授産場轉換

平市授産場は今遺族四十名が軍拂下物資の縫製を續けてゐるが四月から軍關係を離れて一般希望者の入所も認め市民の需める衣類更生を主に新發足する

◆隠匿物資摘發隊

十九日

平市田町日本産業社では元憲兵小林清氏を中心に全社員で隠匿物資摘發隊を結成小名濱町を中心に元風部隊の軍放出物資摘發に活動既に釘百廿樽、米廿俵その他多數の隠匿物資を摘發した

◆農民組合結成

十九日 上遠野では農民組合を結成"假裝自作を理由とする地主の土地取上禁止"その他五ヶ條を村並に縣當局へ要求した

◆農民座談會

二十三日 社會黨常務支部では相馬農民組合と共催郡下各農村で農民座談會を開き、小作農民の啓蒙を續けてゐるが、現在まで鹿島外五ヶ村で實施した

◆炭礦の貯金ラッシュ

二十三日 湯本町常陽銀行支店へは十八日以來採炭夫で一万、二万圓と預金するものが續出一日平均百万圓突破と云ふ炭礦の懐都合を見せてゐる

◆小名濱町議選舉

二十七日 定員二十七名中二十五名の連続辭職した小名濱町議の補缺選舉は二十七日執行された

◎文化協會

磐城文化協會例會は二月十六日文協事務所にて開催、縣民歌發表演奏會の會計新婦人讀書會の誕生等に就いて報告の後、衆議院議員合同政見發表演說會の日取その他を協議決定、最後に磐城文化學園(假稱)の件を附議、實際運営上の諸問題に就き各委員から意見の發表があり、具體的の學科内容等に就いては委員を設けて協議する事となつた

◎毒會

新に入會した女性中より委員が選出され今後は男女協同で運営することによりその動きは一層活潑さを加へることであらうなほ同會の數學會、醫學同好會に次で經濟同好會が誕生した

◎第三回新女性座談會

富澤有爲男氏を圍んで三月十日マルトモホール

◎時局問題の表裏

三月十五日マルトモホール

◎第四回レコード・コンサート

三月二十四日午前十時からマルトモホール

◆文學と女性

三月二十四日午後一時からマルトモ

◎愚庵を偲ぶ會

八千種會、古典朗誦會主催 平第三同窓會文化部後援 "天田愚庵を偲ぶ會"は十九日午後六時から釜屋新館で開催された

◎春秋ペンクラブ發足

本紙五號に於ける渡邊久氏の"春秋ペンクラブ"提唱は意外に各方面から大なる反響を呼びその結成を促されたので同氏が中心となつて文化代表十餘名を以て、

◎春秋ペンクラブ

"春秋ペンクラブ"を結成二十二日日本社會議室に發會式を擧げ大なる抱負の下に發足した、同クラブは磐城春秋の發展に寄與するものであるがクラブ員も近く一層廣く各方面から選ぶことになつてゐる

編輯室だより

使命達成のため

◆本紙週刊へ◆

△新生日本の存在を決定する重大な時期が到来しました。私達は本當に眞剣に考へそして生きなければなりません △この曉を迎へ文化―政治―生活等各方面に對する我が磐城春秋の任務もその重大性が愈々加つて來ました △本紙も皆様の御熱心なる御指導と御後援によりて第七號を發行する運びとなりました。深く感謝してをります △本紙も一歩使命に皆様の御期待に副ふべく其使命達成のため盡してをります。が現在の旬刊ではまだ充分ではないので次號(三月九日)より週間四頁建(毎土日曜發行)を斷行致すことになりました △購讀料は今迄と同じで一部四十錢月一圓六十錢です。週刊磐城春秋として使命達成に全力を盡します △益々御購讀に、廣告の御利用に御後援下さるやう御願致します

誰が ために鐘は鳴る" 新聞に出る あの本 この本 手に入れたい望はおなじ 止みがたき讀書人の こころに通ふ

ホナヤでありたい これがホナヤ。ササキの 祈であり愛書家への奉仕である 新刊書の注文

はササキホナヤ イワキリヘラル

讀書人組合 平・本町通二 電四一五・二三三

總選舉

四月十日に延期

告示は三月十一日

第二十二回衆議院議員總選舉は三月卅一日施行される予定であつたが立候補資格審査が當初の予定より遅れたので總選舉期日を四月十日(水曜日)告示を三月十一日(水曜日)十日延期することに二十五日閣議で決定

平市通常市會

平市通常市會は五日午前十時から公會堂日本間で開催されるが審議事項は予算審議、予算規定の改正その他であるがその他にも重大な審議事項が行はれることになつてゐる

明るい新發足

久ノ濱漁業會 改正法による久ノ濱漁業組合役員選舉は二月廿五日九時より同町瀨風莊に於いて開かれた 出席者八十名委任者九十二名で選舉の結果は絶對多數を以て革新派の新妻雄一、高木好之助、橋本宇三郎、

公開座談會

共產黨常磐地區委員會では廿八日午後六時三十分より平市公會堂日本間で公開座談會を開催したが黨よりは中央委員椎名悦明、黨公認候補日野定利、地方委員平田良衛、箱崎壽美雄の四氏が出席する

惟神講演會

惟神聯盟平支部(支部長大嶺庫氏)では本部より高橋伸典理事長を迎へ二十日「天皇の認識」についての講演會を開催するが同聯盟では惟神の徹底を目的に大衆に呼掛けることになつた

新圓生活

經濟危機緊急對策斷行

政府は十七日金融緊急令、食糧緊急措置令、物價對策基本要綱、緊急就業對策要綱等を發表し即ち實施しこれに依り國民生活の安定、生産を増大させ配給を軌道に乗せ最高潮に達した現下の經濟危機を打開することになつたがこれに伴ふ惡事態が誘發し危懼の念を懷せてゐる

讀書人組合誕生

「顔」でなければ、「物」でなければ本は買へない。一般大衆讀書人のしひたげられた此の現状を打破し、文化の源泉たる書籍を欲する人が欲する時に欲する本を手出来る、謂はば本の消費組合とも云ふべき、イワキリベラル讀書人組合が平

長盛寺例祭

大浦村長友、長盛寺例祭は去る廿四日行はれたが同村青年團では村民に文化の息吹をと同例祭の出入を利用し文化演藝大會を開き上泉秀信作「鯉」その他の劇を上演した

中等學校五年制へ

市本町通二丁目三番地に二月十六日發足した。一ヶ月一口五圓で自由に申込を受け付けてゐる。一口は幾人でもよく例へば五人一口とすれば一人一圓となる。注文数は幾冊でも歡迎するが但し同一の本は一口である。

天皇と元帥

二十二日のサンフランシスコ電に依ると聯合軍總司令部民間情報教育局長ダイク代將は「日本人が現在信頼を寄せてゐる人物は二人しかゐないこれは、天皇とマッカーサー元帥である」と述べてゐると傳へてゐるが端的に日本人の總意を現してゐるものとして各方面の反響を呼んでゐる

社告

衆議院議員立候補合同政見發表演説會は總選舉の延期に伴ひ次の如く三月三十一日(日)に延期しましたが、その他は變りありません 期日 三月三十一日(日) 場所 第三國民學校講堂 参加 平市に事務所を有する候補者 資格 告示後から平市田町 磐城春秋社で申込 受付 けます

市内五中等校の

進學就職希望

新卒業生は何處へ

學徒動員から離され、眞の學生生活に生きやうとする新日本第一回の中等學校新卒業生は何處へ行くのであらうか。新春卒業生の動向を平市内五中等學校に見ると次の如く卒業生千二百八名の内進學希望者は五百九拾一名で約半數を占め残りの六百十七名が就職又は家業に就く。

◇磐城中等學校(四七回—18日) 卒業生三四八名進學希望二四六名(高校四五、高工五、高専大隈八四その他)就職六八、家業三四

◇磐城高等女學校(三四回—18日) 卒業生三四〇名進學希望二〇〇名(醫專、女專が多數)櫻丘學園—新春より一ヶ年制豫備校として開校—一五〇)就職一〇残りは家庭へ入る

◇平商業學校(二七回—19日) 卒業生一一四名進學希望三〇名(全部高商)就職七四(銀行、會社事務員)家業一〇

◇平工業學校(高修電機、探礦

遺族の感激

故瓜田先生へ 同情集る

昨年七月殉職を遂げた平第一國民學校訓導瓜田壽氏の遺族に對する義捐金は二十八日で締切つたが、各方面より多大なる同情を寄せられ百二十口、二千二百圓が集つた。釜屋、塩屋兩家の百口等の大口を初め見知らぬ人々から一口、二口と寄せられ遺族の方々は感激に咽んでゐる。

ピース出賣し

—十日から— 待望の新煙草ピースは十日

教育の民主化

指導係を生徒から

平市内各中等初等學校教職員を以て組織兒童生徒の校外監督機關として従來活動して來た平市兒童生徒指導會の委員會例會は廿六日午後三時から平第三國民學校で開催、會長磐中渡邊校長以下約三十名出席、教育の民主化に依る指導改善といふことが協議題として取り上げられ、各委員によつて眞摯な討議が行はれ、従來

平商縣立移管決定

新學期百名募集

平商業學校の復活及縣立移管は二十日の縣參事會で決定したが同校は元平商業跡に七十萬圓で新校舍を建て

藝能意欲旺盛

注目すべき

勤勞青年の傾向

最近農村工場等に於ける青年男女が藝能的方面に興味と關心を深めてゐるが、平市内に於ても星製藥福島工場長駒木根忠藏氏は従業員

新時代の女子教育

磐城文化學園生る

磐城文化協會婦人部關係の人達に依つて計畫經營される事になつてゐる新時代に即した女子補習教育機關として磐城文化學園が元藤田女學校舊校舍を利用して來る四月から開園される。募集人員は卅五名、入學資格は高女卒の學歷を有する者修業年限は一ヶ年専任の洋裁擔當者は小杉山初子さんである。

の平日を皮切りに毎日曜賣出す。「コ罗纳」は三毎に市内マルトモ、沖田屋魁文堂、藤倉屋、蛭田屋、大黒屋その他十七軒で賣出されるが、一軒一回平均七箱で三月中旬に六百二十箱を

人物紹介

加藤惣二郎氏

平 稅 務 署 長

凡そ官吏の型の中で警察と
 稅務官吏位一般大衆に親し
 みにくく暗い印象を持たれ
 てゐるものはあるまい。「
 みつぎとら」といふとバイ
 ブルの中でも偽善者や富者
 と並べて救はれたい人間
 の範疇に入れられてをり、
 誠に割の悪い役目を引受け
 てる。もつとも此人達の
 中には相當救はれがたき惡
 徳者に陥り易い境遇にある
 事は事實で、現に日本經濟
 新聞に大藏書記官渡邊喜久
 造氏が「新稅三法案に就い
 て」と題して述べた最後
 に「現在の稅務官吏の生活
 は他の職業人同様非常に苦
 しい、誘惑の手が伸びる時
 尚それでも全部が全部絕對
 大丈夫だとは自信が持てな
 い(稅務官吏諸君これを見
 て憤慨するなら憤慨してく
 れ給へ、憤慨してくる人
 なら信頼する)」と述べて
 るのを見てもわかる。
 平稅務署の官吏諸君に就い
 てはその信頼が持てるや否
 やは筆者は保證はしない。
 卅六人も官吏が居るのだ
 から中には香しからぬ噂を

立てられる者、誘惑され易
 い傾向の人が絶無とは保證
 はできないやうである。
 さて昭和十九年五月以來、
 平稅務署長の椅子に坐つて
 かうした吏員の指揮監督の
 責任を擔つてゐる加藤惣二
 郎氏はどんな人物だらう
 脱稅を摘發する峻嚴な青鬼
 赤鬼のやうな恐ろしい顔か
 要領好くあの手この手で物
 慾を充たしてゐる所謂みつ
 ぎとら型の人物を想像する
 であらう。所が昨年三月十
 日の戰災で廳舎が焼かれ田
 町の元簡易保險健康相談所
 に假すまひしてゐる平稅務
 署の署長加藤さんはその質
 素な服装といひ小心翼々た
 る物靜かな態度といひこれ
 が稅務署の署長さんかと疑
 ひたくなる程この想像を裏
 切られる。どう見ても平凡
 な田舎おやぢといふ見えな
 い。体軀も堂々といふより
 は寧ろ貧弱といひたい程で
 これで誘惑に陥り易い署員
 を締めくくつて行けるなら
 うかど不安な感を受ける程
 だ。しかし一般外部の評判
 は概しい宜敷、成程贅澤な

生活をしなければ官吏は惡
 い事をしないですむわけだ
 加藤さんは宮城縣の農家の
 次男坊に生れ、角田中學を
 出て大河原稅務署に出たの
 が廿二歳の折で、爾來廿七
 年、稅務官吏としての道を
 歩んで來て居る稅務に就い
 ては表も裏も知り抜いてゐ
 る筈である。財産稅のとり
 立て等で稅務署の仕事は世
 間の注目の的となる事が益
 々多い。我々は嚴正公平な
 態度に期待をかけてゐる。
 世間の眼は案外暗い所迄見
 通して光つてゐる。

新女性紹介(三) 菅間貞子夫人

新婦人指導者の一人として
 平區裁判所監督判事菅間正
 英氏(三)夫人貞子さん(四)
 を訪ねた。夫人は十四年十
 月赴任以來平友の會のリー
 ダーとして地方文化に貢献
 してゐるが「もう私達の時
 代は過ぎました、若い女性
 の方々こそ第一線に立つて
 地方文化のために活躍せら
 れるべきです」と若い人達
 に全幅の信頼と期待とをか
 けてゐる。
 更に夫人は母と娘の立場に
 ついて次の如く語つてゐる
 「母親は娘をもつと理解す
 る必要があります。若い娘
 の活動を心から温い氣持で
 育成すべきです。また若い
 人達は母親の、目上の人達
 の意見をよく聽いて行かね
 ばなりません」

女性の文化活動は如何にす
 べきかと尋ねると即座に「
 より本を讀み、講演會等を
 通じて文化への接觸を深く
 することです。例へば母會
 のレコードコンサート等は
 よい方法です、女の方から
 も積極的に出なければなら
 ません」と話してくれました。
 磐城地方の文化は必ず育たずと夫
 人は強く云ひ切つてゐる、山形を
 除いて東北五縣に住んで見たが平
 が最もよいと云つてゐる。
 夫人は仙台市の家に生れ秋田高女
 を卒業後十九歳にして菅間家に嫁
 ぎ爾來廿九年間家計をたつてゐ
 ると云ふ家庭の人である。
 趣味は畑を作ることである。云ふ
 五十餘坪の畑を夫君と一緒に解
 かに耕してゐる姿が目につくやう
 な肉体的な素朴な感を受ける、本當
 に實のある教養を受けた家庭の人
 である。云ふ氣持で地方文化育成
 のよき相談役として最も適任の一
 人であらう。

釜屋商店

平市五丁目 電話九番九九番

天皇の認識講演會

天皇の必要を問はれた時 皆様は何と答へるか

惟神聯盟理事長 高橋伸典先生

講師 三月二十日午後一時 場所 平市公會堂日本間

主催 惟神聯盟 後援 福島民報平支社 磐城春秋社

福島縣「町の年少」役場

大和炭礦平專事務所

鈴木傳明

福島縣平市町四十番 電話(呼)三〇六

書畫、骨董、新古衣類、家財道具 高價買入亦へ交換可 平館西隣

中央會館

地方文の問題 (下)

毒 會 員

前に述べたことは確に事實であらう。地方にも文化性を持つた人間が少くないであらう。

然し乍ら都會に於ては、その絶對量に於て遙かに多數である。比率に於て同じであるとしても量に於て多數であるとするれば、試みに平々東京との人口を比較せよ。その強力は思ふべきやがある。そして此の点こそ地方文化興隆の困難があるのである。

更に文化なるものは、常に大衆から愛せられるものでなければならぬ。偏在的な遊戯的な享樂的なブルジョア的な文化は新なる時代に對してその發展は阻まれなければならない。從來の日本文化なるものが、インテリ階級の獨占するところとなり、大衆から離れてきたこと従つて、著しく偏在的であつたのは自明のことである。そして稍々もすると地方文化が偏在的であり勝ちなのは、前述の人間の絶對量の寡少性と聯關して考へられなければならない。従つて地方文化の育成に於ては量に絶對多數なることを不可缺とする。大衆の中から育まれた健全なる文化

でなければ地方の健全なる發展は考へられない。「與へられたるもの」が如何に國民をして盲目的ならしめたかは、各人の知る所である。地方に於ける少い人口の凡ての人間が、文化を希求する時始めて堅實なる文化の興隆があるのであり、文化施設の増加も期されるのであり、文化財と人間のより高度なる文化への希求は他の條件が並通であるならば一つの軌道に乗つた時には循環運動である。此の際忘れたはならない重大なる基礎條件があるのである。

文化が大衆に愛されるためには、大衆の日常生活の中に滲透しなければならぬ。このことである。従つて各人の動物的生活——衣食住——が安定されなければならぬ。食事を考へず、本を讀め歌を歌へ、思索をしろといつた所で絶対に出來ないことなのである。「その日の日のパンに思ひを碎き、追り來る寒さに慄へてゐる國民大衆にとつて何の文化であらうぞ」なのである。生活の安定といふ條件を見逃しては、大衆から生れる所の文化の興隆に關する如何なる考へ方も空論とならざるを得ないのである。

結 論

磐城は確に低級文化の横行或は文化以前であると云へ得る。吾々が周圍を見廻す時、本讀まんとして圖書館なきを憂へ、語らんとして人なきを憂ふるは、余りにも明かである。皆が食事の時に良い音楽を聞き、文學政治家等に就いて語り繪画を鑑賞する。そして明日へのよりよき生活を祈願するよりよきものへの憧憬が各人の日常生活の中に於てひしひしと實感あるかもしれない。然し理想を現實ならしめる爲には、現實の正しい把握が絶対に必要なのである。地方文化育成の困難は日本文化興隆の困難と連る。生活の安定、文化の日常化なくして文化育成の理想は實現され得ない。前にも述べたやうに磐城は文化以前である。従つて磐城に於ける文化指對者の

錢の百圓札のいかめしかつたことをば。昔を今になすよしもがなと嘆じた詩人はむくみのきた榮發失調とやらのかんばせもまやかに月給を並べ始めるのである。さうして經濟大波小波的の打寄するあなただこなたを見渡せば昔覺えたいない盡しも及び難い情況であるさう云ふ。只今榮發失調とかの流行病を耳にするにつけ、はて配給米は食へて居られるのかと考へる。餘計なことに遣ひはないが口より入るエネルギーを放散するエネルギーの勘定が合はない。でめて残りはないぞに非ず、残るは足りないばかりなりである。

紙幣と野正物價 (上)

こゝ綴なる常磐炭礦の一角に、黒き寶を掘り出すチンピラども車座になつて一月のあげ金を燈の上にならべてゐる。ヒイ、フウ、ミイ、ヨウ、イツ、ムウ、國民學校のおさらひなす。すでに第三學期に入つて二桁を練習せねばならぬ。したり願してこの十圓札は氣に入らぬ。おひ交換すつべしよるしくあつてやりやりする風景。すまじきものである。四尺五寸に満たぬ小童がめい／＼二百圓の紙幣を十人もあぐらをかいてならへ居る心底には並々ならぬものがある。見給へ。腰の具合が平腰頭にて屯

する開方商人の坐り方と相似形を呈してゐる。こゝに由々しき教育問題を孕み、深刻なる社會問題の存在するを喋々する前に君の収入を改めて並べてみるを要する。それから引算を敢行する勇氣があつてもなくとも、算術では手に負えずりない。則ちマイナスを附してたし算を致さねばならぬのである。月給袋の内譯は黒字で書いてあつても結論は眞赤な赤字です。今から數へて二十年前に鼻垂れ小僧に覺えがあらう。銀行ごつこの面妖なる紙幣の山を枯葉の如く積み重ねて天晴れ重役頭取を演じた日向のひだるさをば六月の背葉の下にむしるをしいて發支遊まがひのモノヲ王國を開設した五枚一

強制疎開ノため湯本町ニ假診療中ノ處今後左記ニ開設仕候

伊藤齒科醫院
齒學得業士 伊藤一人
齒學得業士 神尾精二
平市才館小路一
電話三四五

電話開設!!
今般從前通り電話一六六番開設致シマシタ

自轉車ノ店 矢野商店
平市振進小路三
電話一六六番

福島縣指定自動車整備主要工場

磐城自動車工業株式會社
平市正月町
電話三七〇〇番
電話四九〇〇番

文 藝

投稿歡迎
可紙上匿名

一 日

日野利春

一日生きることは
一日のよろこびである
今日一日生きることは
ふかい、よろこびである
ひさびさは、さきさき
生てゐることを忘れてゐる
悲しい事である
眼の前を、よぎる
機々の色彩に、心うははれ
それが凡てになつてしまふ
ジープが通る
聲明が出る。
仕事が次々出来る、
闇市もある。
食糧の事も心配である。
ひさびさは、いま
あまり空をみない。
星をみる事もない。
しみじみと月を仰ぐこともない
朝々の太陽について
語ることもない。
それにしても
日々は太陽と共に明け、
その光の中に
私の日々は生てゆくのである

悲 哀

殿木麗月

悲哀……
人生の悲哀を熟考へさせられる
今日此の頃の生活
啄木歌集を握りしめながら私は嘆
想するゆけ……
たそがれ時に
胡蝶深ッ子
あの人が残して征つた詩を
今もまたしみく心に還し
てゐる
「いけない、またこんなに涙
でいつばいになつてしまつた
はげしい嵐にあへず
號泣の中に永久のサヨナラを
したたかひの年、すつかり
疲れてしまつた心に得休の知
れない大きな光だけが……
あ、私も進んで行け相だ
――大きくかじらなげよう――
光のかげらが通りすぎる街角
に
春のはなしの中に居る。
あら!!あちらにもこちらにも
整理できりかへの踊り子たち
でいつばいだ
遠い山々を見るとき又あの歌
が
去來する雲の様にうるゝさ
私の心に流れる
還らざる人 燃える出陣の詩
この詩も矢張り整理できりか
へのリズムに溶けこんでしま
ふのかしら

短 歌

春遠からず。流端滋子
淺宵を遊びあかれば呼ぶ聲の
遠近にして夕飽告げおる
相 聞 青山新太郎
海遠くゆく白雲のなほさを
汝に寄るわれのこころぞを見し
歸 還 語橋鈴司
國敗れ山河はあれや明け初め
浦賀の海に今は着きたる
生 活 堀越琴月
あゝかくて今日もすきけり新しき
明日のある日を信する我れども
俳 句
梅句ふ 殿木麗月
古寺の御燈さびしく梅句ふ
梅が香にしばし愛き身を忘れたる
露 店 街 片寄 祇喜
娘が一人真赤に若く密柑店
遠柿に苦み抜いた干柿店

ヤマフル
味 醬 油 鹽 屋
平市古銀治町
電話二十七番

時計と修理
メガネ其他
部 品 販 賣
誠光堂時計店
平市銀座通り

固型實用洗濯石鹼
化粧クリーム
靴 クリーム
◎取次販賣店チキム
常磐線平市四丁目

山吉商店
電話二六八番
取引銀行 常陽銀行平支店

求ム自動車修理工(但経験者二名)
委細面談優遇ス。テレストノ上採用
常磐石炭増産助成株式會社
自動車修理工場
平市田町二四
電話(呼)五〇九番

平 會 館
レ스토랑
平市三丁目
電話六二四番

神谷工業原料
株式會社
社長 神谷兼次郎
平市田町五六
電話六五六番
電話六六五番

株式會社ホシ薬舗
平市三丁目五
電話四二九番

星製藥株式會社
福島工場
平市五丁目二八

有限會社
星アンブル工業所
平市佃町

製粉機 各種有リ
ドーナ物デモ良ク粉ニナリマス
福島縣平市田町通り

馬目酒店平營業所
吉田 正夫
電話二五番

◆診療科目◆

内科 院長 大井 龍正
外科 院長 内木 宗八
眼科 院長 小野 宗八
耳鼻咽喉科 院長 廣橋 田鶴
産婦人科 科長 伊藤 留三郎
レントゲン科 技師 遠藤 藤三郎
診察時間(平日)午前九時至午後
四時(後四時日曜祭日休診)
但シ急患ハ此ノ限ニアラズ
平市十五丁目十三番地
日本醫療團 平病院
電話(分室)六〇八番、八一三番
電話(分室)六八三番
院 事務長 内木 宗八
藥劑士 小野 隆三
野 明隆 子 幸八